

# EMF (拡張 Windows メタファイル) 変換ソフト



Kernel Computer System  
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部  
〒221-0056  
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル  
TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501  
URL：<http://www.kernelcomputer.co.jp>

## 概要

HP-GL, HP-GL/2, OFI, DXF, DWG データを EMF フォーマット (拡張 Windows メタファイル) へ変換します。

## 特徴

- ・ HP-GL, HP-GL/2, OFI, DXF, DWG データから EMF データに変換します。
- ・ コマンドラインから入出力ファイル名をキーインする事で実行可能です。
- ・ 実行時各入出力フォーマットの属性パラメータやオプションパラメータを設定可能です。
- ・ 回転や任意のページのみの変換指定が可能です。

## 動作環境

対応 OS Windows XP/Server 2003/Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7/8/8.1/Server 2012/Server 2012 R2/10/Server 2016

## 価格 (税別)

製品名	標準価格
HPTOEMF	20 万
H2TOEMF	25 万
OFITOEMF	25 万
DXFTOEMF	25 万
DWGTOEMF	25 万

## 操作方法

XXXTOEMF は、コマンドライン形式のアプリケーションです。  
通常のコマンドと同じように、コマンドラインからの実行やバッチファイルに組み込むことが可能です。

※インストールについては、別紙の「KDxxxx コンバートソフトの特記事項について」を参照してください。

ここでは、直接コマンドラインから入力して実行する場合の、基本的な操作手順を示します。  
(タスクバーの「スタート」メニューから「プログラム/アクセサリ/コマンドプロンプト」で DOS ウィンドウを開いて、その中で実行します)

まず、変換を始める前に、変換に必要な情報を設定しておく必要があります。  
XXXTOEMF では、そのために属性ファイルと呼ばれるファイルを使います。

変換を行う前に、XXXTOEMF をインストールしたフォルダへ cd (Change Directory) コマンドを使用してフォルダを移動します。※cd コマンドは、Windows のコマンドとなります。

〈例〉 XXXTOEMF を c:\kcs\XXXTOEMF のフォルダへインストールした場合

```
> cd c:\kcs\XXXTOEMF
```

変換を実行するには、次のような形式でコマンドラインに入力します。

```
XXXTOEMF 変換前のファイル名 -0 変換後のファイル名 オプションコマンド
```

-0 は、マイナス記号とアルファベットの「オー」です。  
大文字でも小文字でもかまいませんが、全角文字は使えません。  
また、-0 と変換後のファイル名の間には空白を入れないようにします。  
変換前のファイル名と変換後のファイル名に同じものを指定することはできません。

例えば、sample.hp2 を sample1.emf に変換するには、次のように入力します。(下線部が入力する部分です。)

```
> H2TOEMF sample.hp2 -0sample1.emf -Uhp2_in.atr -Zemf_out.atr
```

※ -U, -Z は、属性ファイルを設定するオプションとなります。

※ インストールした XXXTOEMF と変換を行うファイルでフォルダが異なる場合には、ファイル名に絶対パスを指定して変換を行う必要があります。

正常に変換できた場合は、次のような表示が出て終了し、リターンコード 0 が返されます。

```
XXXTOEMF 変換終了
```

エラーの場合は、次のような表示が出て終了し、リターンコードとして 0 以外の値が返されます。

```
XXXTOEMF 変換エラー
```

これ以外のエラーメッセージが出ることもあります。

XXXTOEMF には、変換時に指定できる様々なオプションが用意されています。(-0 も、オプションの一つです)  
次のように入力すると、オプションの一覧が表示されます。

```
> XXXTOEMF -Q
```

### 〈注意事項〉

変換処理が何らかの原因により途中で異常終了した場合、一時ファイルが削除されずに残ってしまう可能性があります。一時ファイルは、以下の場所に「kd?????.tmp」というファイル名で作成されます。このようなファイルが残ってしまった場合は、削除しても問題ありません。  
ファイルの格納先のフォルダは、Windows の環境変数 TEMP および TMP で設定された場所となります。

## オプション

- O[filename] : EMF 出力ファイル名(初期値:標準出力)
- R[rotation] : 出力時 90 度単位の回転を指定します。(初期値:0 度)
- U[IN\_ATR\_NAME] : 入力属性ファイル名をパス付で指定します。  
パスの指定は、絶対パス、相対パスでの指定が可能です。  
(初期値:カレントフォルダ内の xxx\_in. atr)  
<例> -Uc:%kdconv%xxx\_in. atr
- Z[OUT\_ATR\_NAME] : 変換時に使用する出力属性ファイル名(パス付)を指定します。  
パスの指定は、絶対パス、相対パスでの指定が可能です。  
(初期値:カレントフォルダ内の emf\_out. atr)  
<例> -Zc:%kdconv%emf\_out. atr
- PAGE[Page No] : ページ指定  
複数ページを持つデータをメタファイルに変換する際、変換を行うページを指定できます。  
ページを指定した場合、指定されたページのみを変換します。  
ページ指定を行わない場合、出力されるファイル名には、  
data.emf data\_2.emf data\_3.emf のように、ページ番号が付加されます。
- V : データ中に含まれる文字列を、弊社ストロークフォント(別途購入していただく必要があります)で線分として変換します。指定しない場合は、Windows フォントにより、文字列として変換します。
- LOG[LOG\_FILE] : ログファイル名(初期値:標準出力)  
変換結果をログファイルへ出力します。  
但し、エラーが発生した場合のみ作成されます。
- XMLLOG[xmllog\_file] : ログファイル名(\*\*\*.XML)  
変換結果を XML 形式でログファイルへ出力(追加)します。  
※-log オプションでログファイルを必ず指定してください。  
【ログファイルの内容】

ログファイル	
メッセージ	
ファイル情報	
エラーメッセージ(ERROR : -----)	

(注)表示するための拡張子が XSL ファイルも同時に作成されます。

- RIREKI[RIREKI\_FILE] : 履歴ファイル名(初期値:出力なし)  
変換結果のファイル情報を履歴ファイルへ出力(追加)します。  
【履歴ファイルの内容】  
2007/02/16 09:59:00, sample1.plt, OK  
2007/02/16 10:02:00, sample2.plt, OK  
日付 時間 ファイル名 変換結果
- 変換結果は OK or NG で表示されます。  
変換結果が NG の場合は次の行に NG になった原因が記述されます。  
履歴ファイルは、「-LOG」と違い変換結果を追記していきます。  
履歴ファイル内の行数が 20000 行を超えると古い 10000 行を削除します。

-XMLRIREKI[xml\_rireki] : XML 形式の履歴ファイル名(\*\*\*.XML)  
 変換結果のファイル情報を XML 形式で履歴ファイルに出力(追加)します。  
 ※-log オプションでログファイルを必ず指定してください。  
 【履歴ファイルの内容】

変換履歴				
日付	終了時間	変換元ファイル名	変換結果	メッセージ
2003/06/06	16:33:09	sample1.dt	NG	ファイル情報 エラーメッセージ(ERROR:-----)
2003/06/06	16:34:42	sample.dt	OK	
2003/06/06	16:36:03	sample2.dt	NG	ファイル情報 エラーメッセージ(ERROR:-----)

(注) 表示するための拡張子が XSL ファイルも同時に作成されます。  
 履歴の件数が 20000 件を超えると、前半の 10000 件が削除されます。

-QPEN[pen\_file] : ペン番号の情報をファイルに出力します。  
 HP-GL/2 データの SP コマンド(ペン番号)の設定パラメータを取得し  
 pen\_file で指定されたファイル(テキストファイル形式)へ出力します。  
 pen\_file が指定されていない場合はこのオプションは無効になります。

<実行例>

◇ sample.plt で使用されているペン番号を pen.txt へ出力  
 h2toemf sample.plt -QPENpen.txt

-Q : ヘルプメッセージを表示します。  
 指定可能な入力パラメータを確認したいときに使用します。

-QV : 実行ファイル名とバージョン情報を表示します。  
 【表示の内容】

name:XXXX (XXXX : 実行ファイル名)  
 version:X.XX (X.XX : バージョン番号)

-BATCH[batch\_file] : バッチファイルを使って、複数ファイルを一括処理します。

#### <使用方法>

処理の内容を記述したバッチファイルを-BATCH オプションで指定して実行します。  
(各変換処理のログを残す場合は、-RIREKI オプションも指定します。)

```
xxxTOEMF -BATCH バッチファイル名 [-RIREKI 履歴ファイル名]
```

#### <バッチファイルの作成方法>

- ・バッチファイルはテキスト形式で、1行につき1件の処理を記述することができます。行数に制限はありません。各行には、入力ファイルやオプションパラメータなどをコマンドラインに記述すると同様の形式で記述します。このとき、実行ファイル名(xxxTOEMF)は記述しません。通常は次のような形式になります。

```
入力ファイル -O 出力ファイル [オプションパラメータ]
```

- ・入力ファイルと出力ファイルの指定では、ワイルドカード(「\*」など)を使うことができます。入力ファイル名でワイルドカードを使うと、それに該当するファイルすべてについて、それぞれ処理が行われます。出力ファイル名にワイルドカードを使うと対応する入力ファイルの拡張子を変更したものが出力ファイル名となります。(したがって出力ファイル名には、必ず拡張子を指定する必要があります。)
- ・通常は、バッチ処理の途中でエラーが発生しても処理を続行しますが、次の行をバッチファイルの先頭部分に記述しておく、エラーが発生した時点でバッチ処理が中断されるようになります。

```
$break
```

- ・先頭が「#」の行はコメント行とみなされ、無視されます。

#### <バッチファイルの例>

- ◇ 変換を行うファイル名を指定して変換処理を行います。

```
sample1.hp2 -Osample1_1.emf -Uhp2_in.atr -Zemf_out.atr  
sample2.hp2 -Osample2_1.emf -Uhp2_in.atr -Zemf_out.atr  
sample3.hp2 -Osample3_1.emf -Uhp2_in.atr -Zemf_out.atr
```

- ◇ dir\_a のフォルダ内の拡張子が「hp2」のすべてのファイルを、dir\_b のフォルダへ拡張子のみを emf へ変更して変換を行います。

```
dir_a%*.hp2 -Odir_b%*.emf -Uhp2_in.atr -Zemf_out.atr
```

#### <実行例>

```
dir_a%sample1.hp2 -> dir_b%sample1.emf  
dir_a%sample2.hp2 -> dir_b%sample2.emf
```

- ◇ 途中で変換エラーが発生したら変換処理を中断したい場合

```
$break  
dir_a%*.hp2 -Odir_b%*.emf -Uhp2_in.atr -Zemf_out.atr
```

#### <制限事項>

- ・バッチファイル内で指定できるファイル名(ディレクトリを含む)は最大 255 文字までとなります。
- ・スペースを含むファイル(フォルダ)名を指定することはできません。
- ・入力ファイル名にワイルドカードを指定した場合、処理されるファイルの順番はアルファベット順になります。  
なお、1回のワイルドカードで変換できるファイル数には制限はありませんが大量のファイルを一括で変換する場合には、数回(1000 ファイル単位)に分けて変換を行ってください。
- ・出力ファイル名には、必ず拡張子を指定してください。
- ・バッチファイルの中に-BATCH オプションを記述することはできません。

#### <バッチファイル作成上の注意>

- ・バッチファイルはテキスト形式で作成してください。  
(例: Microsoft Word で作成する場合は『テキスト改行』でファイルを保存してください。)
- ・バッチファイル内の項目は半角英数字で作成してください。

## サンプル

例：sample.dt を sample.emf へ変換

```
C:\> XXXTOEMF sample.dt -Osample.emf
Copyright(c) 1992-2016 by Kernel Computer System Co.,Ltd. All rights reserved.

XXXXX(sample.dt) ->拡張(sample.emf) ファイル コンバータ

ただいま、ファイル変換中です。

XXXTOEMF 変換終了
```

例：sample.dt を 90 度回転して sample.emf へ変換

```
C:\> XXXTOEMF sample.dt -Osample.emf -R90
Copyright(c) 1992-2016 by Kernel Computer System Co.,Ltd. All rights reserved.

XXXXX(sample.dt) ->拡張(sample.emf) ファイル コンバータ

ただいま、ファイル変換中です。

XXXTOEMF 変換終了
```

例：sample.dt を sample.emf へ変換。変換時に使用する属性ファイルを指定します。

```
C:\> XXXTOEMF sample.dt -Osample.emf -Z"..\emf_out_kcs.atr"
Copyright(c) 1992-2016 by Kernel Computer System Co.,Ltd. All rights reserved.

XXXXX(sample.dt) -> 拡張(sample.emf) ファイル コンバータ

ただいま、ファイル変換中です。

XXXTOEMF 変換終了
```

上記の例では、1 つ上のフォルダにある属性ファイルを相対パスとファイル名を指定します。絶対パスでの指定も可能です。

- (注) 入力ファイル指定なしの場合標準入力となります。  
出力ファイルを指定なし(-O オプションなし) の場合は標準出力となります。